

ICRP 勧告改訂草案「大規模な原子力事故における人と環境の放射線防護」 を事故被害者の立場から検討する公開セミナーのご案内

日時:2019年9月7日(土) 13時50分~17時40分 (開場13時20分)

場所:大阪経済法科大学 OUEL 研究センター5階会議室 (環状線鶴橋駅下車 JR 高架下を北へ6分)

主催:日本学術振興会科学研究補助金「低線量被ばく健康影響をめぐる日本の論争とその社会的背景の研究」研究班/低線量被ばく問題研究会

国際放射線防護委員会 (ICRP) はPub.109とPub.111の改訂作業を進め、「大規模な原子力事故における人と環境の放射線防護」という勧告改訂草案を公開しました。9月20日を期限として意見公募 (パブコメ) を行っています。この改訂は極めて重大で、これ以上被ばくさせてはならない値である線量限度1mSvを骨抜きにし、ひとたび事故が起これば参考レベルという極めて曖昧な数値を使って住民に高線量の被ばくを負わせることになりかねません。それにブレーキをかけるために、福島原発事故被害者をはじめ多くの方が現実を踏まえた批判的なコメントを出す必要があります。パブコメは、原子力村周辺のキャッチボールかもしれませんが、それでも福島原発事故の被害を直接受け、避難を続けている人々の事実裏付けられた訴えは、ICRPに影響を及ぼす可能性があります。また、コメントは世界に発信・公開され、世界中の人たちが目にします。

本セミナーでは、高木学校の瀬川嘉之さんに今回の改訂草案の概説と批判のポイントについて報告していただき、神戸大学の山内知也さんのコメントを踏まえ討論をします。さらに山田耕作さん、高橋博子さん達が準備中のパブコメ案を提示してもらい、森松明希子さんなど避難者の方々や賠償裁判原告弁護士の方々などの意見も伺った上で、より良いパブコメを出すための議論をしたいと思えます。また、各人が自分の立場で意見を出す (日本語でもOKとのこと) きっかけになることを期待します。公開セミナーですのでどなたでも参加できますが、参加希望者は藤岡までご一報ください。

<プログラム>

- | | | |
|-------|-------------------------------|---|
| 13:50 | セミナー趣旨 | 司会 藤岡 毅 (大阪経済法科大学・21世紀研) |
| 14:00 | 報告「ICRP 報告草案の概要とその批判、パブコメの勧め」 | 瀬川 嘉之 (高木学校) |
| 14:50 | コメント | 山内 知也 (神戸大学大学院海事科学研究科) |
| 15:10 | 討論 | |
| 15:50 | 休憩 | |
| 16:00 | ICRP 報告草案に対する共同パブリックコメントの提案 | 山田 耕作 (京都大学名誉教授)/高橋 博子 (名古屋大学大学院法科学研究科) |
| 16:20 | 避難者・原告弁護士等からのコメント (森松明希子他) | |
| 16:40 | 討論 | |
| 17:30 | まとめ(結論) | 17:40 散会 |

★ 参加希望者の連絡先 藤岡 毅 (Email: jcf10563@nifty.com Tel: 090-5056-4604)